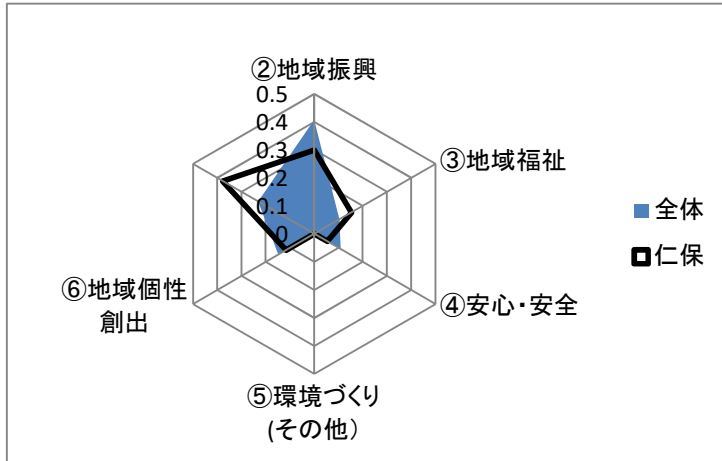


仁保自治会 地域づくり交付金事業概要(令和4年度)

■地域の情報

地域人口	2,760人	自治会数	23
世帯数	1,026世帯	自治会加入率	91.5%

※数値は、令和5年4月1日のもの



■決算状況

交付金配分枠	9,743,000 円
交付金決算額	8,437,667 円
その他収入	6,044 円
交付金決算額/配分額	86.6%

各分野の決算

①協議会運営	4,109,864 円
②地域振興	754,895 円
③地域福祉	387,701 円
④安心・安全	136,120 円
⑤環境づくり(土木工事)	1,810,000 円
⑤環境づくり(その他)	292,911 円
⑥地域個性創出	952,220 円
決算総額	8,443,711 円

■地域づくりの活動方針(テーマ)

「広げよう いいとこ仁保 未来へつなげ!!～仁保に胸キュン～」を合言葉に住み良い地域づくりを進める。

■総括

第3次地域づくり計画に掲げる地域の活性化や安心して生活できる環境づくりを達成するために、コロナ禍の中、対策を講じながら、積極的に事業を進めてきた。コロナ禍の影響で中止していた事業が多かったが、大農業まつりや夏祭りをコロナ対策を盛り込んで開催するなど、工夫しながら、徐々にコロナ前の状態に戻すことを心掛けた。

産業振興事業では、新たに実行委員会を立ち上げ、農村地域の長を生かした複数の事業を実施した。参加者から大変好評を得た。

地域交流促進事業では、地域課題に独自に取り組む地域活動団体を公募により発掘することで、その活動や人材を育てることができた。また、仁保自治会に加入する団体も交えた情報交換の場を設けることで、それら活動のPRや新たな気づき、団体を跨いだ連携の輪の広がりなど、地域活動の活性化にも寄与した。

■分野別事業名

① 協議会運営	事務局長給与、事務局員給与、事務費
② 地域振興	情報発信事業、地域交流促進事業、地域活性化応援事業①、法定外公共物整備事業②、有害鳥獣被害防止推進事業、産業振興事業、定住促進事業
③ 地域福祉	高齢者サポート事業、健康増進事業、ニュースポーツ振興事業 こども高齢者交流事業①、子育て支援事業
④ 安心・安全	交通安全推進事業、防犯灯設置補助事業、自主防災活動実施事業
⑤ 環境づくり	法定外公共物等整備事業①、清掃活動推進事業、環境維持保全事業
⑥ 地域個性創出	歴史文化伝承事業、こども高齢者交流事業②、地域活性化応援事業②

■重点的に取り組んだ事業

事業名	情報発信事業	決算額	217,319円
①	<p>目的</p> <p>「第3次仁保地域づくり計画」に基づく事業実施について、地域住民への周知徹底を図る。また、広報誌やホームページ等を活用し広報活動の充実を図る。</p> <p>実施内容</p> <p>自治会だよりの発行。交流センターが発行する「仁保だより」への掲載。ホームページ、Instagramによる情報発信。「仁保の里カレンダー」全戸配布。YouTubeチャンネルの開設</p> <p>実施時期</p> <p>通年</p> <p>参加人数</p> <p>地域内戸数 約950戸</p> <p>成果</p> <p>仁保自治会だより年2回発行、HP・Instagram・YouTube随時更新</p> <p>評価</p> <p>HP等で地域情報を適時に地域内外に発信することにより、住民の地域意識が醸成されている。</p> <p>今後に向けて</p> <p>SNSで更に魅力ある情報を発信していきたい。</p>		
事業名	地域交流促進事業	決算額	269,404円
②	<p>目的</p> <p>一昨年度観光資源として活用を始めた「巨岩・重石」について、地区内の他の観光資源と共に、一層の情報発信を行う。また、公募により、独自に地域内外との交流を行っているグループを支援し、交流人口の増加を促進し、地域の活性化を図る。</p> <p>実施内容</p> <p>写真コンテストの実施。 公募グループ(にはほかあさんの会、仁保んオープン、仁保クラスメイトプロジェクト、仁保の里山茶屋)への活動支援。 情報交換会の実施。</p> <p>実施時期</p> <p>4～3月</p> <p>参加人数</p> <p>—</p> <p>成果</p> <p>写真コンテスト応募79点。地域のグループが仁保自治会の活動に加わった。</p> <p>評価</p> <p>交流人口の増加を促した。これら団体と仁保自治会の団体間で情報交換会を開催したことで、団体同士の横のつながりを深め、地域活動の活性化を促した。</p> <p>今後に向けて</p> <p>地域交流を一層促進するために、各団体の活動を支援していきたい。</p>		
事業名	産業振興事業	決算額	149,472円
③	<p>目的</p> <p>昨年度に引き続き、農産物の生産、食の体験、地区内の地場産業等地域の魅力を紹介するパンフレットを作成し、農村地区の特性を活かして、産業の活性化を図る。</p> <p>実施内容</p> <p>仁保に胸キュン実行委員会で、 ①胸キュン畑で、地産地消の取組みによる、野菜の栽培・収穫体験を行った。 ②実行委員で胸キュンマップを印刷し、配布した(R3年度はデザイン)。</p> <p>実施時期</p> <p>通年</p> <p>参加人数</p> <p>—</p> <p>成果</p> <p>畑・マップとも地区内外の人に参加してもらい、交流が図られた。 中学生にも参加してもらい、幼・小・中学校給食に野菜を提供した。</p> <p>評価</p> <p>好評だった畑は5年度に引き続き取り組んでいく。</p> <p>今後に向けて</p> <p>学校・地区外の人も取り込み、交流を図っていきたい。</p>		